センター通信

News letter　132号　2022年6月

新潟市口腔保健福祉センター　http://ii-ha.net/k-center/

このQRコードから新潟市口腔保健福祉センターのホームページへ入れます。

薬剤性歯肉増殖について

薬剤性歯肉増殖は、薬の影響で歯ぐきが腫れることををいいます。薬剤性歯肉肥大ともよんでいます。その原因となる代表的な薬をご紹介します。

1．てんかん薬のフェニトイン
　（商品名：アレビアチン、ヒダントールなど）
2．高血圧治療薬のカルシウム拮抗薬
　（商品名：ニフェジピン、アダラート、アムロジンなど）
3．自己免疫疾患の薬シクロスポリン
　（商品名：サンディミュン、ネオラールなど）

歯肉増殖（肥大）は、服用量が多く服用期間が長いほど、また磨き残しが多く歯垢（プラーク）が多いと重症になる傾向があります。重症になると、歯が完全に歯ぐきで隠れてしまうこともあります。

　薬は疾患の治療のために必要なことですので、やめたり変更することができません。そのため、日頃の歯みがきを徹底して行うことや、定期的に歯科受診して歯石をとることが、歯肉増殖を少しでも軽症化するために大切です。

6月の特別診療担当医

佐藤　順子	（常勤）	丸山　利彦	（1日）
森　道弘	（2日）	永井　悠太	（3日）
岡田　匠	（8日）	道見　登	（9、23日）
野澤　太郎	（9、15、23日）	藤原　喜栄門	（16日）
楯　泰昌	（17日）	平澤　貴典	（22日）
鹿又　真一	（29日）	倉田　一良	（30日）